

Yuu♡

五月

五月の木

ごう

とよ。たち

美肌通信 vol. 46



5月の春風の中、こいのぼりが元気いっぱい泳いでいます。

青空を背景に、さわやかな風が感じられる今月の表紙です。

女の子がかわいらしく描かれ、かしわもちやちまきがおいしそうです。

絵を描くこと、ブランコに乗ることが大好きな素敵な女の子が描いて下さいました。

得意なことは、字を書くことと教えて頂きました。


元気いっぱいの優しい字です。

素敵な表紙をありがとうございました。

院長はじめスタッフ一同、心より感謝いたします。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮膚科クリニック\* 

「自分の事を分かってもらいたい」「話を聞いて欲しい」 etc…。

“患者様は医師に共感を求める”。

米ノースウエスタン大学のフェインバーグ教授は、アイコンタクトと共感とは医師と患者様の繋がりを強めるとの論文を発表した。

その中で共感とは、相手の立場に身をおいて自分がどのような心の体験をするのか想像する。また、アイコンタクトに準ずるものとして握手をしたり背中に手を当てたりといったボディータッチもコミュニケーションに含まれるとしている。

私は皮膚を診る医師であり、その根底に視診し、触診し、更には五感を使って診察しているという自負があります。その一つとして私は全身を診せて頂く事が多く、その結果一人当たりの診療に少々時間を要する事になってしまいます。しかし正確な診断の為には必要不可欠であると思っております。貴重な時間を割いて待って頂いている患者様を思うと申し訳ないと思う事は事実ではありますが、この方針は当クリニックが存続する限り変える事はないでしょう。

今後は、今までの診療スタイルに加えてアイコンタクトも意識しより患者様の心の支えになれる様にしていこうと考えております。医師として常に患者様にどう接するべきかを考え情報を集めていますが、患者様も私も生身の人間であるがゆえに、瞬間瞬間で考えが違ってくることもあります。

しかし、その様な時は私の方がその気持ちに寄り添う努力をしなければいけないという考えに落ちつきます。なぜならそれは、患者様の心理状態は共感によってのみ観察することが出来ると言われているためです。見方を変えれば、医師として私は患者様に生かされていると言えるからです。

ふとした時に生きるという事は何か？と考えます。

そんな時、頭を空っぽにして目で流して読む詩があります。

生きる

谷川俊太郎

生きているということ

いま生きているということ

それはのどがかわくということ

木漏れ日がまぶしいということ

ふっと或るメロディを思い出すということ

くしゃみをする事

あなたと手をつなぐこと

生きているということ

いま生きているということ

それはミニスカート

それはプラネタリウム

それはヨハン・シュトラウス

それはピカソ

それはアルプス

すべての美しいものに出会うということ

そして

かくされた悪を注意深くこばむこと

生きているということ

いま生きているということ

泣けるということ

笑えるということ

怒れるということ

自由ということ

生きているということ

いま生きているということ

いま遠くで犬が吠えるということ

いま地球が廻っているということ

いまどこかで産声があがるということ

いまどこかで兵士が傷つくということ

いまぶんこがゆれているということ

いまいまがすぎてゆくこと

生きているということ

いま生きてるということ

鳥ははばたくということ  
海はとどろくということ  
かたつむりははうということ  
人は愛するということ  
あなたの手のぬくみ  
いのちということ

生きる事を心で感じ生きている事に感謝しいのちの火を燃やし精進して参ります。

院長・拝

さいごに…感謝の気持ちを忘れてはならない  
感謝の心があってはじめて  
物を大切にする気持ちも  
人に対する謙虚さも 生きる喜びも 生まれてくる

松下幸之助